

農業塾第3講 病虫害防除と管理作業



病虫害防除講義の様子



トウモロコシ管理実習の様子



トマト管理実習の様子



キュウリ管理実習の様子



防除実習の様子

第3講ではIPM（総合的管理技術）と病虫害防除の基礎知識を学びます。

安全安心な農産物の生産を目指して、農薬に頼らない物理的・生物的・耕種的防除の技術例の紹介と、農薬の種類や特徴・効果的な散布方法をJA指導員が説明しました。

また、JAの農業資材担当者が、JA管内の購買店舗の紹介と商品説明を行いました。

病虫害の防除には農薬散布が効果的ですが、農薬には使用基準が定められているため、きちんとした知識と責任を持って使用してください。特に、飛散や適用作物の確認は十分注意してください。

講義終了後は実習園場へ移動。

始めに、前回定植した野菜の管理作業をJA指導員が説明しました。

トマトは実を大きくするために一本仕立てとし、ナスは3本の主枝を横に伸ばすように誘引します。ピーマン・キュウリは、倒伏防止の為にネットを張ります。管理作業の基本は、わき芽の整理と伸ばす枝の選定です。作物の特性を理解し、適切な整枝をこころがけましょう。

つづけて、防除実習では講義で学んだことを確認しながら、薬液の作り方を実演しました。

講座終了後は、JA就農支援センター内のイチゴハウスで、収穫体験を行いました。受講生は、箱いっぱいイチゴを手にとり、大変喜んでいました。



イチゴ収穫体験の様子